

片桐主席研究員業績一覧

2011年8月

【博士論文】

2006年4月博士（社会心理学）取得 東京大学大学院人文社会系研究科
『定年退職者の社会参加のマイクロ・マクロモデルの構築』

【賞】

2006年11月 アメリカ老年学会より“Civic Engagement in an Older America Paper Award”受賞

【雑誌論文】

- 片桐恵子・菅原育子(2010). 社会参加と地域への溶け込みの関連 地域での社会的ネットワークの及ぼす影響に着目して . 応用老年学,4(1) 40-50 .
- 片桐恵子・菅原育子・張秀智.(2009) CSRの光と影:CSR理念が従業員にもたらす効果. アサヒビール学術助成財団 2007年研究助成報告書 159-166.
- 片桐恵子・菅原育子(2007). 定年退職者の社会参加活動と夫婦関係 夫の社会参加活動が妻の主観的幸福感に与える効果 老年社会科学, 29(3) : 392-402, 2007.10.
- 片桐恵子 高齢社会における損害保険業界のありかた. 応用老年学 , 1(1) : 45-47 , 2007.5
- 菅原育子・片桐恵子 中高年者の社会参加活動における人間関係 親しさとその関連要因の検討 老年社会科学, 29(3) : 355-365, 2007.10.
- Keiko Katagiri. (2003.11). Social and Psychological Factors in Retirement Decision. *Social Science Japan, 27*, 20-23.
- 片桐恵子 2003年5月 Joint retirement 志向に関連する要因-定年期における夫と妻の就業意思決定 定年到達の就業と生活実態に関する報告書 最終報告平成14年度（財団法人高齢者雇用開発協会）pp77-99
- 片桐恵子 2002年12月 高齢期の生活および満足状況 定年到達の就業と生活実態に関する報告書 第一次報告平成14年度（財団法人高齢者雇用開発協会）pp116-158
- 片桐恵子 2002年 Joint Retirement Decision – Retirement 研究の新しい潮流 定年到達の就業と生活実態に関する報告書中間報告平成13年度（財団法人高齢者雇用開発協会） pp25-32
- 片桐恵子 2001 地域社会とインターネット - インターネットによる地域の新しい絆の創出 . カルチュラルエコロジー研究委員会メディア倫理部会プロジェクトレポート 『習志野市M区におけるメディア利用の実態調査報告』 pp. 15-31
- 片桐恵子 2001 中高年齢者における社会参加とネットワーク 厚生科学研究費補助金長寿科学総合研究事業 『中高年齢者の職業からの引退過程と健康・経済に関連する研究 - 平成10年度～12年

度総合研究報告書』 pp125-135

片桐恵子 2000 高齢者とパソコン・インターネット：事例研究 情報革命の光と影～デジタルネットワーク時代にどう対処するか～（4財団法人共同研究カルチュラルエコロジー研究委員会） pp61-68

片桐恵子 1999年3月 アメリカ合衆国社会保障制等について 定年退職者等の就業と生活実態に関する調査研究報告書-諸外国の高齢期の引退をめぐる諸実態把握レポート 平成10年度（財団法人高年齢者雇用開発協会） pp.91-105

片桐恵子 1997年?月 女性の定年をめぐる状況-就労と引退を決めるもの 定年到達の就業と生活実態に関する調査研究報告書平成9年度（財団法人高年齢者雇用開発協会） pp60-86

片桐恵子 1997年?月 定年期のネットワークの変化 定年到達の就業と生活実態に関する調査研究報告書平成9年度（財団法人高年齢者雇用開発協会） pp87-102

【図書】

片桐恵子 退職シニアと社会参加（近刊） 東京大学出版会

片桐恵子 2000.12a 働く母親と子どもの親子関係：ISSP調査による分析 佐藤博樹・石田浩・池田謙一編 社会調査の公開データ：2次分析への招待（pp195-210）東京大学出版会

片桐恵子 2000.12b 女性とジェンダーISSP調査 佐藤博樹・石田浩・池田謙一編 社会調査の公開データ：2次分析への招待（pp110-113）東京大学出版会

片桐恵子・箕浦康子 2001.5 生涯学習とデジタル・メディア - 中高年のネットボランティアの可能性 カルチュラルエコロジー研究委員会編 情報革命の光と影 - カルチュラルエコロジーの視点から（pp197-205）NTT出版

【学会発表等】

Katagiri, K. (2011, July 28-31). Comparison of family values in East Asian countries: The relationship between the traditional family norm, sex-role norm, and attitudes. The 9th Biennial Conference of Asian Association of Social Psychology

片桐恵子 (2011年6月15-17). 東アジアにおける伝統的家族規範・性役割規範とサポートに対する態度 第53回日本社会老年科学大会 p.266

Katagiri, K. (2010, Nov19-23). Different Effects of Social Participation on the Mental Health of Japanese Seniors: Are Urban Seniors Privileged or Disadvantaged? Paper presented at the 63rd Annual Meeting of Gerontological Society of America. New Orleans, LA.

Katagiri, K.(2010, Oct). Living Area Matters: Are Urban Senior Citizens Privileged or Disadvantaged with regard to Social Participation? Paper presented at the NUS, Duke NUS, APRU Joint Conference 2010 on Healthy Aging. Singapore.

- 片桐恵子・菅原育子 (2010 9 月). 職業ヒストリーによる社会参加の違い 日本心理学会第 74 回大会
大阪大学
- 片桐恵子・菅原育子 (2010 年 9 月). 企業への信頼と一般的信頼～CSR 戦略は企業への信頼、一般的信頼を醸成するのか～ 日本社会心理学会第 51 回大会
- 片桐恵子・菅原育子 (2010年6月17-18) 社会参加と主観的幸福感：職業ヒストリー、地域、性別による相違 第52回日本社会老年科学学会大会
- Katagiri, K. & Sugawara, I. (2009 Nov 18-22). Disparities in Civic Engagement : Who is More Successful in Aging in Place. In Katagiri, K.(Chair), “*Civic Engagement of the Young-Old in Japan and Korea: Will They Make a Difference in Rapidly Aging Societies?*” Symposium conducted at the 62nd Annual Meeting of Gerontological Society of America. Atlanta, Georgia.
- Keiko Katagiri (2009.Oct). How can we facilitate social participation among Japanese retirees? Paper presented to 『2009 SNU - UT Joint Conference on Aging "Challenges and Opportunities of Aging Asia:Toward the New Social System and Culture for Aging Society".』 October 19-23. Seoul, Korea.
- 片桐恵子・菅原育子(2009). 首都圏近郊と地方都市における地域住民の意識と行動 (2) 社会参加～社会参加志向性尺度の構築～.日本社会心理学会第 50 回大会・日本グループ・ダイナミックス学会第 56 回大会合同大会 . 10 月 10 日～12 日 . 大阪大学吹田キャンパス
- 片桐恵子・菅原育子(2009). プロダクティビティが主観的幸福感に与える影響～無償労働は有償労働を代替するのか～. 日本心理学会第73回大会 8月26日～28日立命館大学衣笠キャンパス.
- Keiko Katagiri, (2009 July). Do Productive Activities Compensate for the Lack of Paid Work? An Analysis on the Effects of Un-paid Work on the Subjective Well-being of Senior Japanese Men. 19th IAGG World Congress of Gerontology and Geriatrics 5 – 9 July 2009, Paris, France
- Keiko Katagiri (2008 Nov). Consequences of Civic Engagement: A Smooth Transition to Retired Life.第61回アメリカ老年学会. National Harbor, MD.
- 片桐恵子 企業への信頼に関連する要因 日本社会心理学会大会第49回 2008年11月 鹿児島 . 日本社会心理学会第49回大会発表論文集 294-295.
- Keiko Katagiri (2008.Sep). Hierarchical Model on the Civic Engagement of Japanese Retirees. 東京大学主催.Horiba・APRU Research Conference “Strategies for ‘Aging in Place’: Networking of Junior Gerontologists in the Pacific Rim Countries.
- 片桐恵子・菅原育子 社会参加活動と夫婦関係；ペアデータによる検討 第50回日本社会老年科学学会大会 2008年6月
- Keiko Katagiri(2007 Nov).Causes and Consequences of Civic Engagement: Micro–Macro Model of Social Participation among Japanese Retirees第60回アメリカ老年学会. San Francisco.

- 片桐恵子・菅原育子・張秀智・竹内真純 CSRと企業イメージ 日本社会心理学会大会第48回 2007年9月 .
- 片桐恵子・権藤恭之・増井幸恵・稲垣宏樹・岩佐一・河合千恵子・鈴木隆雄・小川まどか
職業からの引退が夫婦関係に及ぼす影響 -縦断データによる検討- 第49回日本社会老年科学学会大会 2007年6月
- Keiko Katagiri(2006 Nov).Successful Aging and a Hierarchical Model of the Civic Engagement of Japanese Retirees.第 59 回アメリカ老年学会. Dallas.
- 片桐恵子(2006 .11)定年退職者の社会参加と夫婦関係：濡れ落ち葉の功罪 日本心理学第70回大会. 福岡
- 片桐恵子(2006 .9)定年退職者の社会参加に関わる3つの志向性 - M-GTA を用いた定性的分析 - 2006年 日本社会心理学会第47回大会. 東北大学
- 片桐恵子・菅原育子(2006.6) 定年退職者の社会参加活動と夫婦関係 夫の社会参加が妻の生活満足度に与える効果 第49回大会日本老年社会科学学会大会 . 大阪
- 菅原育子・片桐恵子(2006.6) 中高年齢期男性の地域・社会活動参加における対人関係 第49回大会日本老年社会科学学会大会 . 大阪
- 膳場百合子・片桐恵子・村上史朗 2005年3月 集団成員の行為に対して集団を責める心理:Collective Welfare Orientation(集団内での助け合いを促進しようとする志向)が集団への責任帰属に及ぼす影響. 日本グループ・ダイナミクス学会第52回大会 p28-31
- Katagiri, K., Sugawara, I.& Akiyama, H. 2003 Nov. Effects of Social Participation on Marital Relationship of Japanese Old Couple. 第56回アメリカ老年学会. San Diego.
- Sugawara, I., Katagiri, K. & Akiyama, H. 2003 Nov. Friendship Formation Process in Community Activities. 第56回アメリカ老年学会. San Diego
- 片桐恵子 2003年9月 社会心理学における Mixed Methodology の試み. 於：ワークショップ 柏木恵子、高橋恵子『質的データはいかに有効か』第67回日本心理学会 S75.
- Katagiri,K., Nishimura, M., Sugisawa, H., & Shibata,H. 2002 Nov. Social Participation of Middle Age Japanese – Who are more engaged?” Paper presented at the 55th Annual Scientific Meeting of the Gerontological Society of America. San Francisco
- 片桐恵子・秋山弘子・杉原陽子 2002 11月 定年退職の心理的影響とそれを緩和する要因についての検討”日本社会心理学会第43回大会
- Katagiri K., & Akiyama, H. 2001 July. Transition into Retirement: Challenge for Middle-aged Japanese Couples. Paper presented to the Symposium ‘Couples, Careers and Retirement’ at the 17th World Congress of Gerontology. Vancouver.
- Katagiri, K. 2000 November. Retirement: A Challenge for Japanese Retired Couples. Paper presented at the 53rd Annual Scientific Meeting of the Gerontological Society of America. Washington D.C.
- 片桐恵子 2000年11月 働く母親と子どもの親子関係を巡るステレオタイプとM字型カーブ - 就労経験はステレオタイプを覆すか第41回 日本社会心理学会

Katagiri, K. 1999 November. Reconstruction of Social Network: A Challenge to Japanese Male Retirees. Paper presented to the Symposium 'Self and Social Relations: Cultural and Historical Context' at the 52nd Annual Scientific Meeting of the Gerontological Society of America. San Francisco.

Katagiri, K. 1999 June. Retirement of Japanese Women. Paper presented to the 6th Asia/Oceania Regional Congress of Gerontology. Seoul.

片桐恵子 1998年7月 定年期のネットワーク変化が主観的幸福感に及ぼす影響. 第40回日本老年科学会

片桐恵子 1997年9月 定年期の夫婦関係—濡れ落ち葉の検証. 第38回日本社会心理学会. 東京

Katagiri, K., Okabayashi, H., Sugisawa, H., Akiyama, H., & Liang, J. 1997, August. The Effect of Retirement on Self-Esteem of Older Adults in Japan. Paper presented to the Joint Meeting of the 45th Conference of the Japanese Group Dynamics Association and the Second Conference of the Asian Association of Social Psychology. Kyoto

片桐恵子・池田謙一 1996年9月 ボランティア経験へのネットワークの影響. 第37回日本社会心理学会

【講演】

北海道武蔵女子短期大学 公開セミナー『健康で長生きするために～退職後の生き方で人生が変わる』
2007年10月

日本損害保険代理業協会 公開セミナー

2007年10月長野支部「夫婦で聞いて得するこの話 退職後はあなた次第、地域デビューで家族も円満」

2007年1月群馬支部「夫婦で聞いて得する！この話～健康で長生きするために～退職後の生き方で人生が変わる」

2007年1月石川支部「楽しいシニア講座～趣味からボランティア活動まで～」

昭和薬科大学模擬患者研修会「社会貢献といきいきマイライフ」2010年6月

【社会貢献活動】

練馬まちづくりセンター運営協議会委員 2010年12月～

都立市ヶ谷商業高校生徒会・NPO法人わかば活動報告会・シンポジウムにてパネリストとして発表。
テーマ「地域に学び・地域に貢献する」都教委 特色化推進事業、「生徒会パソコンボランティアの推進」文科省 未来型教育開発事業「インターネットを利用した地域との連携」2002年3月

【パブリシティ活動】

- 保険毎日新聞 東日本大震災で高齢者の被害についてまとめた内容が「東日本大震災被災地の高齢者の実態を探る」という記事として掲載される
- 毎日新聞 2011年5月3日 団塊世代の地域デビューのコツについてコメントが掲載される
- 保険毎日新聞 2008年9月10日東大ジェロントロジー国際会議国際シンポジウム紹介記事にて、発表内容紹介される
- 保険毎日新聞 2008年2月22日 『社会老年学の最新研究-代協などの関心も高まる』取材記事掲載される
- 日経新聞にコラム掲載 2007年3月27日 「団塊地域デビュー3段階で」
- 北國新聞 2007年1月13日 日本損害保険代理業協会 公開セミナー 告知記事掲載
- 上毛新聞 2007年1月29日 日本損害保険代理業協会 公開セミナー 発表内容紹介記事掲載
- 保険毎日新聞 2006年9月14日 紹介記事掲載
- 保険毎日新聞 2006年9月27日 紹介記事掲載
- 日経新聞 2006年6月24日 コラム欄「日時計」にて紹介記事掲載
- 産経新聞にコラム掲載 2004年4月-10月 「がんばれおじさん」 23回
- 日経新聞 2003年7月27日 MONEY & LIFE 欄にてボランティア活動に関するコメント掲載される
- 日刊ゲンダイ 2003年10月31日 ボランティア活動に関するコメント掲載される
- 日経新聞 2002年11月18日 定年退職者の社会参加についてコメント掲載される

【研究助成】

- 東京女性財団 1998年 女性の定年 代表研究者
- 第31回(平成12年度)(2000年)三菱財団 地域におけるアクティブ・エイジングの研究と介入プログラム開発 - 幸せな定年を迎えるための新しいコミュニティの創造
- 2006年 日本証券奨学財団 CSRは社会関係資本をもたらすか・CSR理念が従業員にもたらす効果の実証的研究
- 2007年 アサヒビール学術振興財団 CSR活動の光と影 CSR理念が従業員にもたらす効果 代表研究者
- 2009年10月 2009 SNU・UT Joint Conference on Aging "Challenges and Opportunities of Aging Asia: Toward the New Social System and Culture for Aging Society" におけるgrant competitionにて優勝 代表研究者
- 2010年11月 ファイザーヘルスリサーチ振興財団 後期高齢者における社会的孤立:環太平洋6カ国における国際共同研究 代表研究者
- 2011年4月 独立行政法人日本学術振興会科学研究費補助金研究成果公開促進費「学術図書」交付内定「退職シニアと社会参加」 東大出版会より平成23年度内刊行予定